

かんがえる



第496回

◆哲学カフェは、ひとつだけの正解がない問いを語り合う哲学対話です。



# 子どもは悪いことがわかるのに、なんで大人はわからないのだろう？ (群馬県、小3)

## わかってて無視

お手紙も読んだよ。戦争について考えているうちにこの疑問が浮かんできたんだね。最近、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの講演を聞く機会があって、似たような話を聞いた。内戦中のシリアで、家の前で遊んでいるときにミサイルが落ちてきて足を吹き飛ばされた女の子がいて、お母さんに「こんなひどいことはもうやめてっ、おおきな人たち」に伝えて「言ったぞうなんだ。戦争すれば何の罪もない人たちも危険で悲惨な目に遭わせることになるというのよ、子どもにだってわかる。でもだからこそ、それは大人だって当然わかってるんだ。「戦争は多くの人を不当に苦しめる悪いことだから即刻やめるべきだ」ということには、おそらく99%以上の大人も本気で賛成するだろう。でもこの非常に単純な真理は、戦争を起こせるだけの権力や武力を持ったおおきな人たちの判断の中では軽視され、簡単に無視されてしまっ場合がほとんどだ。なぜそうなるのだろう？



ツチャさん

まっ場合がほとんどだ。なぜそうなるのだろう？

## 優先順位にすり替え

戦争を起こせるだけの権力や武力を持った人だけじゃない。身近な大人たちも、悪いことを悪いとわかっているような行動をすることがある。たとえば、親が仕事を理由に子どもとの約束を破るとき。子どもには「約束は守りなさい」と言いつくせに、自分たちが破るときは「より大切なものを守るためには、仕方ないんだ」「君も大きくなったら、わかるよ」なんて言い訳をするんだ。戦争を起こす人も似たようなことを言う。でも、本当かな？



マツカワさん

よ。って認められなくなっちゃうんだ



イラスト・熊谷理沙

## 誰が止めるかの問題

「子どもは悪いことがわかるのに」って、本当かな。周りの人にひどいことをする子も、悪いとわかっている子も、止められない子もいる。普段は良い子でも判断を間違えることもある。もしも明日突然、すべての大人がいなくなったら、世界は平和になるかな。たぶん、ならないと思う。子どもの中にもきつと、争いを始める人たちがいる。子どもが悪いことをする。と、大きな人たちが止める。若者のように小さな力を持つ大人が悪いことをする。と、感じる気持ち。これは、邪魔になることももあるよ。



ゴードさん

て「と感じる気持ち。これは、邪魔になることももあるよ。

あなたの考えや問い

---



---



---



---

ここで取り上げてほしい問いや、質問に対してあなたが考えたことを送ってください。あて先は〒100-8051(住所不要)毎日小学生新聞編集部「哲学カフェ」係かメールmaishou@mainichi.co.jp

- ツチャさん…土屋陽介 勉強は苦手だが考えるのは好きな子どもを経て大学で哲学と出会う。哲学対話と落語が好き。開智国際大准教授
- コーノさん…河野哲也 心とからだの関係に関心がある。子どもと哲学の話し合いをするのが好き。イヌと走るのが趣味。立教大教授
- ゴードさん…神戸和佳子 なぜ生きるのか考えていたら、哲学者に。口癖は「そもそも」。散歩と風呂と歌が好き。長野県立大大学院講師
- ムラセさん…村瀬智之 考える事が好きで哲学を学んだ。賢い人はどんな人かを考え中。ラジオを愛する40代。東京高専准教授
- マツカワさん…松川えり 科学と社会の関係に関心がある。小食なのに食いしん坊。哲学対話を企画・進行するてつがくやさん